

2020年度 北海道シニアサッカー連盟

第1回常任理事会

1 期 日 2020年8月1日(土) 18:00~19:50

2 場 所 STV北2条ビル 地下会議室 AB(札幌市中央区北2条西2丁目)

3 出席状況

(1)出席理事

西川会長、松本・工藤・三浦副会長、佐藤英理事長、伊東・二川・小坂副理事長、小林・佐藤晃・松本真・松本健・水落・吉田・飯田常任理事

(2)出席オブザーバー

柴田理事(空知)、土井理事(名寄)、真保空知地区サッカー協会理事長、千葉空知地区サッカー協会事務局長

(3)Web出席理事

小田中・眞木・亀山常任理事

(4)Web出席オブザーバー

神谷理事(医事)

(5)欠席

小笠原常任理事

4 会長挨拶

9月に予定していた60の全国大会が中止となった。

この後どうなるか分からないが、やれることをやっていきたい。

人が集まって行う会議は今回が初めてで、議題は色々あるが、時間も限られているのでよろしくをお願いします。

5 議 題

(1)2020年度新役員紹介と体制 → 佐藤理事長

- ・新体制となり初めての理事会開催のため自己紹介を行った。
- ・「事業実施体制組織図」(P2)により、北海道サッカー協会でのシニアの位置づけを確認した。
- ・HKFA役員賛助金並びにJFA役員登録金について、北海道シニアサッカー連盟の現役員がHKFA及びJAF役員を兼務する場合には、連盟経費で負担することを了承した。

(2)2020 年度予算(案)中間報告 → 伊東事務局長

- ・資料(P7～P10)に基づき説明を行った。
- ・コロナの影響で大会が中止となっているが、予算はそのままである。
- ・全道各地域でリーグが始まり、大会要項等が届いているので、必要経費を渡している。

(3)2020 年度シニアサッカー連盟登録状況 → 佐藤理事長

- ・資料(P11～P12)に基づき説明を行った。
- ・網走の「遊蹴会」と「根室の根室クラブ 40」は、当連盟に加盟していないため、全道大会には出られないが、地区で行う大会の参加については、地区に委ねることとした。

(4)各地区の状況 → 佐藤理事長

- ・資料(P14～P23)に基づき説明を行った。
- ・60 スーパーリーグが今日(8/1)から始まり、コロナ対策として、アルコールと検温を行い、メンバー表に検温チェックをした。2 週間の健康チェックシートについては、監督が保管し何かあった場合は提出できるようにしている旨報告があった。(松本副会長)

(5)今後の事業予定

①年間事業工程 → 佐藤理事長

- ・資料(P24)に基づき説明を行った。
- ・7月までの大会はすべて中止又は延期となった。
- ・全国 60・70 大会は中止となったが、参加予定チームの権利は先送りせず、来年の全国 60・70 大会に出場するチームは、8月に実施する全道大会で決めることとする。
- ・全国 40・50 は開催する予定である。
- ・10月のねんりんピックは中止となった。
- ・11月のライフスポーツについては開催する予定である。
- ・3月の全道シニアフットサル大会は開催する予定である。

②北海道シニアオープン大会 → 二川副理事長

期 日：2020 年 8 月 22 日(土)・23 日(日)

会 場：夕張平和運動公園

- ・参加チームは、40 部門は 17 チーム、50 部門は 15 チームとなっており、それぞれ、3 グループに分け、各チーム 4 試合を予定している。60 部門と 70 部門は全道大会と重なっているため参加チームはなし。

③全道シニア 70 大会 → 二川副理事長

期 日：2020 年 8 月 22 日(土)・23 日(日)

会 場：夕張平和運動公園

- ・参加チームは、5 チームのため、各チーム総当りの 4 試合を予定している。優勝チームは来年の全国大会の北海道代表となる。

④全道シニア 60 大会 → 二川副理事長

期 日：2020 年 8 月 22 日(土)・23 日(日)

会 場：栗山町ふじスポーツ広場

- ・参加チームは、18 チームのため、変則 4 ブロックに分け、各チーム 3 試合を予定している。優勝・準優勝チームは来年の全国大会の北海道代表となる。

⑤全道シニア 40 大会 → 二川副理事長

期 日：2020 年 9 月 12 日(土)・13 日(日)・14 日(月)

会 場：天塩川サッカー場(士別市東川町)

- ・当初 7 月の開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、9 月開催となり、最終日は平日開催となった。参加資格チームは 16 チームとなっている。

⑥全道シニア 50 大会 → 二川副理事長

期 日：2020 年 9 月 19 日(土)・20 日(日)・21 日(月祝)

会 場：帯広の森球技場(帯広市)

- ・参加資格チームは 16 チームとなっている。

(6)北海道シニア、全道シニア 60・70 の運営について

- ・北海道シニア及び全道シニア 70 は、連盟役員及び道央地区所属チームで運営する。
- ・全道シニア 60 については、空知地区サッカー協会で運営する。
- ・資料 (P48) の北海道シニアにおける会場運営体制表は三浦副会長が作成する。
- ・全道シニア 60 と 70 のプログラム、トロフィーについて、手配を空知地区サッカー協会に依頼した。
- ・監督会議は、密を避けるため、各チーム 1 名とし天気がよければ外で行う。
- ・理学療法士は、栗山に 1 人、夕張に 2 人派遣する予定。
- ・後日、連盟と空知地区サッカー協会の詳細を詰めて、周知する。

(7)新型コロナウイルス感染対策 → 佐藤理事長

- ・資料(P52)に基づき説明を行った。
- ・HKFA 書式の健康チェックシート(直近 2 週間分)を監督会議時に提出を求めるほか、当日の起床時検温及び非接触型検温器による検温は、管理棟で実施し当日用簡易版チェックシート (各チーム 1 枚) に記載する。

←会議後、HKFA よりご指導があり、当日用簡易版チェックシート（各チーム1枚）は廃止し、HKFA 書式の健康チェックシート(直近2週間分)に当日起床時検温結果と非接触型検温器による検温結果も併せて記載することに変更となった。

- 6 北海道サッカー協会 各地区・連盟 主管予定表 → 二川シニア委員長
・資料(P63)に基づき説明を行った。

7 その他

- ・シニア連盟20周年記念事業については、来年の3月～4月を予定している。
- ・毎年、女子委員会へ協力していたが、今年度は開催中止となった
- ・10年後のシニア種の在り方について勉強会を開催したい。札幌ではミドルリーグが活発であり、遠い芝より近場の土を選んでいるシニア層もいるため、札幌社会人連盟と連携し、課題を整理したい。
- ・次回の常任理事会は12月5日を予定している。

以上